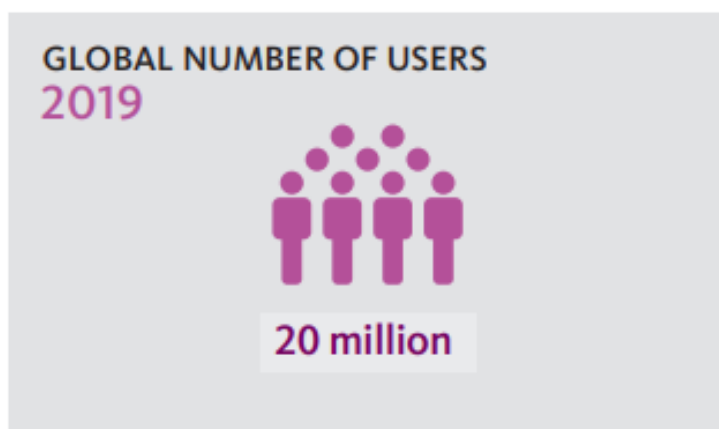
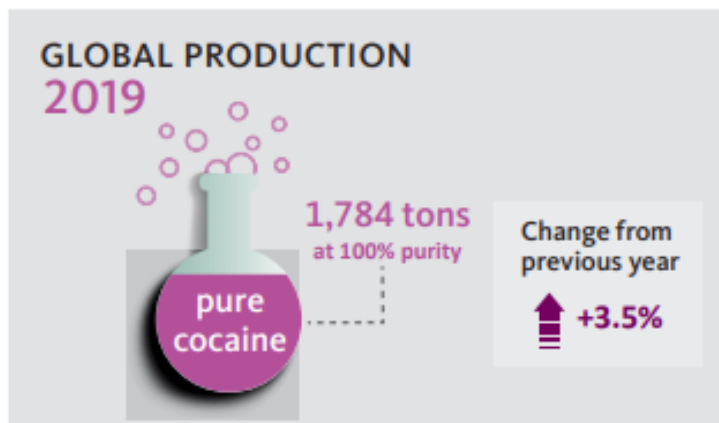
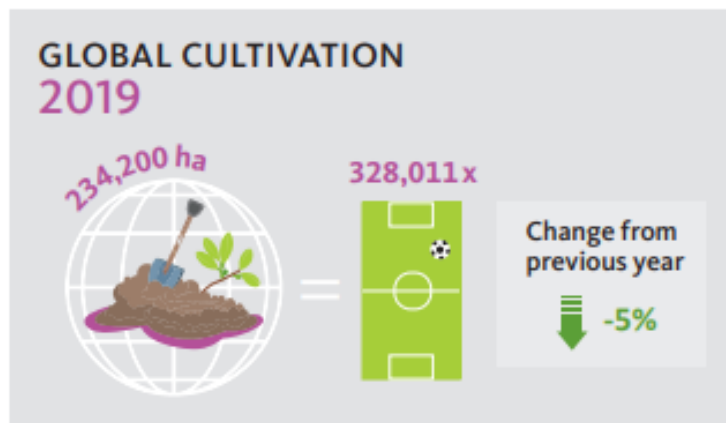




（写真）国連 UNODC 世界薬物報告書 “国連 世界の薬物状況についての報告書を公表”

国連 世界薬物報告書

南米はコカインの大生産地域

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

以下では国連の薬物犯罪事務所（以下、UNODC）が公表した「世界薬物報告書」の内容で特に南米に関わる情報を中心に紹介したい。

なお、この報告書は2021年6月に公表された最新の報告書ではあるが、情報の多くは2019年時点の実績までとなっている。

麻薬の中で世界的に最も多く栽培されているのは「大麻」で、151カ国で栽培が確認されている。「ケシ」が55カ国、「コカ」が9カ国だという。ただ、米州について言えば、最も栽培規模・取引規模が大きいとされるのは、麻薬「コカイン」の原料となる「コカ」だ。

国 連の薬物犯罪事務所（UNODC）は、2021年の「世界薬物報告書」を公表した。

ベネズエラは麻薬取引の中継地として悪名高い。マドゥロ大統領、カベジョ PSUV 副党首、アイサミ石油相の他、多くのマドゥロ政権関係者が麻薬取引に関与しているとして、米国に制裁を科せられている。

本稿では、国連の「世界薬物報告書」に書かれている南米の麻薬に関する情報を確認したい。



前ページの通り、コカの違法栽培面積(予想)は23万4,200ヘクタールとされているが、全てが南米、特にコロンビア(15.4万ha)、ペルー(5.5万ha)、ボリビア(2.6万ha)の3カ国に集中している。

以下の表の通り、コカの葉の栽培面積は2013年までは減少傾向にあったが、その後コロンビアで面積を増やしたことで急増。2019年は前年比5%減少したが、それでも2004年実績の2倍。中期的に見ると増加傾向にある。

TABLE 7 Global illicit cultivation of coca bush, 2009–2019 (hectares)

	2009	2010	2011	2012	2013	1905	2015	2016	2017	2018	2019
Bolivia (Plurinational State of)	30,900	31,000	27,200	25,300	23,000	20,400	20,200	23,100	24,500	23,100	25,500
Colombia ^a	73,000	62,000	64,000	48,000	48,000	69,000	96,000	146,000	171,000	169,000	154,000
Peru ^b	59,900	61,200	64,400								
Peru ^c			62,500	60,400	49,800	42,900	40,300	43,900	49,900	54,100	54,700
Total	163,800	154,200	155,600^d	133,700	120,800	132,300	156,500	213,000	245,400	246,200	234,200

Sources: Plurinational State of Bolivia: national illicit crop monitoring system supported by the United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC). Colombia: national illicit crop monitoring system supported by UNODC. Peru: national illicit crop monitoring system supported by UNODC.

なお、「ケシ」の栽培面積(予測)は19年時点で23.7万ha、うち「アフガニスタン」が16.3万ha、南米ではメキシコが約2.2万haとあるが全体でみると中南米の規模は大きくない。

TABLE 4 Illicit cultivation of opium poppy, 2009–2020 (hectares)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
SOUTH-WEST ASIA												
Afghanistan (best estimate)	123,000	123,000	131,000	154,000	209,000	224,000	183,000	201,000	328,000	263,000	163,000	224,000
lower bound ^a	102,000	104,000	109,000	125,000	173,000	196,000	163,000	182,000	301,000	242,000	149,000	202,000
upper bound ^a	137,000	145,000	155,000	189,000	238,000	247,000	202,000	221,000	355,000	283,000	178,000	246,000
SOUTH-EAST ASIA												
Lao People's Democratic Republic (best estimate) ^{b, c}	1,900	3,000	4,100	6,800	3,900	6,200	5,700	5,395	5,327	4,925	4,624	–
lower bound ^a	1,100	1,900	2,500	3,100	1,900	3,500	3,900					
upper bound ^a	2,700	4,000	6,000	11,500	5,800	9,000	7,600					
Myanmar (best estimate) ^{b, c}	31,700	38,100	43,600	51,000	57,800	57,600	55,500	–	41,000	37,300	33,100	29,500
lower bound ^a	20,500	17,300	29,700	38,249	45,710	41,400	42,800		30,200	29,700	25,800	21,000
upper bound ^a	42,800	58,100	59,600	64,357	69,918	87,300	69,600		51,900	47,200	42,800	50,400
SOUTH AND CENTRAL AMERICA												
Colombia (best estimate)	356	341	338	313	298	387	595	462	282	663	–	–
Mexico (best estimate) ^{d, e, f}	19,500	14,000	12,000	10,500	11,000	17,000	26,100	25,200	30,600	28,000	21,500	–
lower bound ^a							21,800	20,400	22,800	21,200	15,500	
upper bound ^a							30,400	30,000	38,400	34,800	27,500	
OTHER												
Other countries ^a	9,479	12,221	16,390	12,282	13,293	11,585	8,549	54,641	8,792	11,815	14,656	40,855
TOTAL (best estimate)	185,935	190,662	207,428	234,895	295,291	316,772	279,444	286,698	414,001	345,703	236,880	294,355
lower bound	152,935	149,762	169,928	189,444	245,201	269,872	240,644	257,996	368,401	310,021	211,619	259,894
upper bound	211,835	233,662	249,328	287,952	338,309	372,272	318,744	333,396	459,701	382,121	247,587	323,187
TOTAL (best estimate, rounded)	185,930	190,660	207,430	234,900	295,290	316,770	279,440	286,700	414,000	345,700	236,880	294,350

「大麻」については、栽培国が多すぎて「報告書」では全体が確認できない。中南米ではメキシコ、ブラジル、コロンビア、グアテマラ、パナマ、パラグアイ、ペルーなどで栽培が確認されているが数字を見る限り「コカ」と比べると規模は圧倒的に小さい。

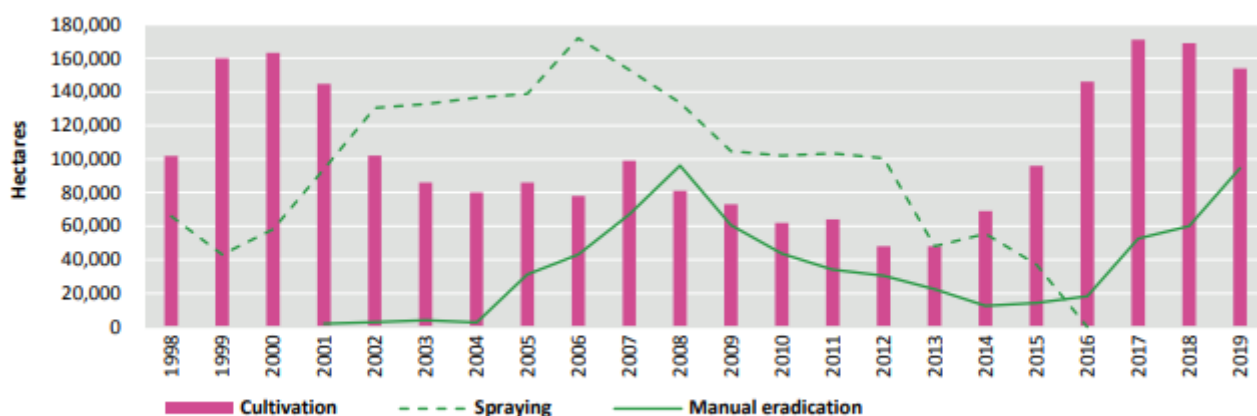
この情報を基に本稿では、特に「コカ」に焦点を当てて中南米の現状について確認したい。

コカイン 栽培面積減少も生産量は微増

以下のグラフは、コロンビアのコカの葉の栽培面積（Cultivation）とコロンビア政府の撲滅手段（折れ線グラフ）の推移。

スプレー散布（Spraying）によって栽培面積は着実に減少していたが、16年にスプレー散布を停止。マニュアル（Manual eradication）による撲滅に切り替えた。19年の栽培面積は減少したが、スプレー散布の方が効果は大きかったと言えそうだ。

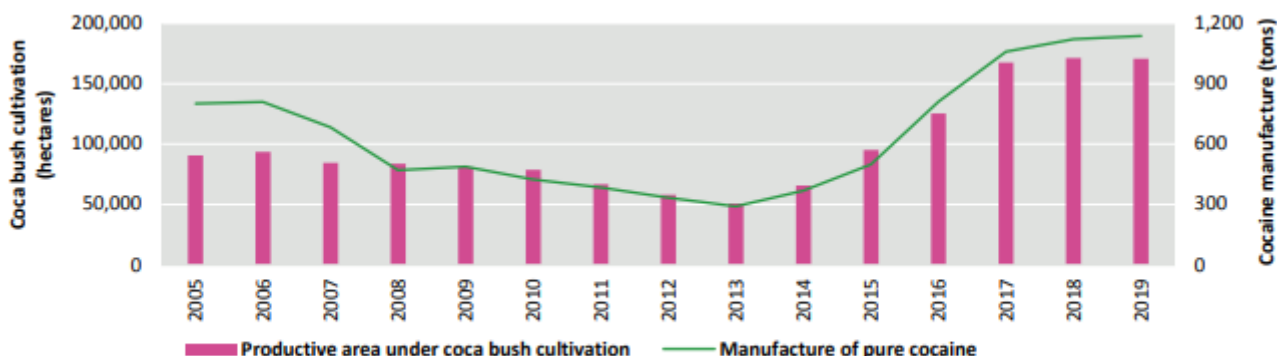
FIG. 2 Areas under coca bush cultivation, sprayed and manually eradicated in Colombia, 1998–2019



Source: UNODC and Colombia, Colombia: Monitoreo de Territorios Afectados por Cultivos Ilícitos 2019 (Bogotá, Sistema Integrado de Monitoreo de Cultivos Ilícitos, 2020), and previous years.

また、コカインの加工効率が上がっている。2019年のコカの葉の栽培面積は微減したが、加工効率が上がったため19年のコカインの生産量は18年比で微増している。

FIG. 3 “Productive areas” under coca bush cultivation and manufacture of cocaine in Colombia, 2005–2019



Source: UNODC and Colombia, Colombia: Monitoreo de Territorios Afectados por Cultivos Ilícitos 2019 (Bogotá, Sistema Integrado de Monitoreo de Cultivos Ilícitos, 2020).

なお、以下はコロンビアのコカイン栽培地の地図（19年と18年の比較）。報告書によると、コロンビアのコカイン栽培の3分の2は、一部の地域（国土の5%）の地域に集中している。

19年と18年を比較すると太平洋岸の地域とベネズエラ国境の地域で栽培量が増えているように見える。

MAP 1 Coca bush cultivation in Colombia in 2019 and change from 2018

Density of coca bush cultivation, 2019



Change in coca bush cultivation 2018-2019



Source: UNODC and Colombia, Colombia: Monitoreo de Territorios Afectados por Cultivos Ilícitos 2019 (Bogotá, Sistema Integrado de Monitoreo de Cultivos Ilícitos, 2020).

ベネズエラ ルートは全体の8%

前述の通り、ベネズエラは基本的に麻薬の栽培国ではなく、中継国だとされている。

以下では、コカインの流通ルートについて確認したい。

次ページの図は、コカインの流通ルートに関する情報をまとめたもの。コカインはコロンビア、ペルー、ボリビアの3カ国で栽培されているため、当然南米を起点として欧米に流れている。

特に米国向けのコカイン輸出が最も大きい。報告書によると、米国向けのコカイン輸出の74%は「太平洋ルート」と呼ばれるコロンビア・エクアドルを経由して米国に流れるルートだという。

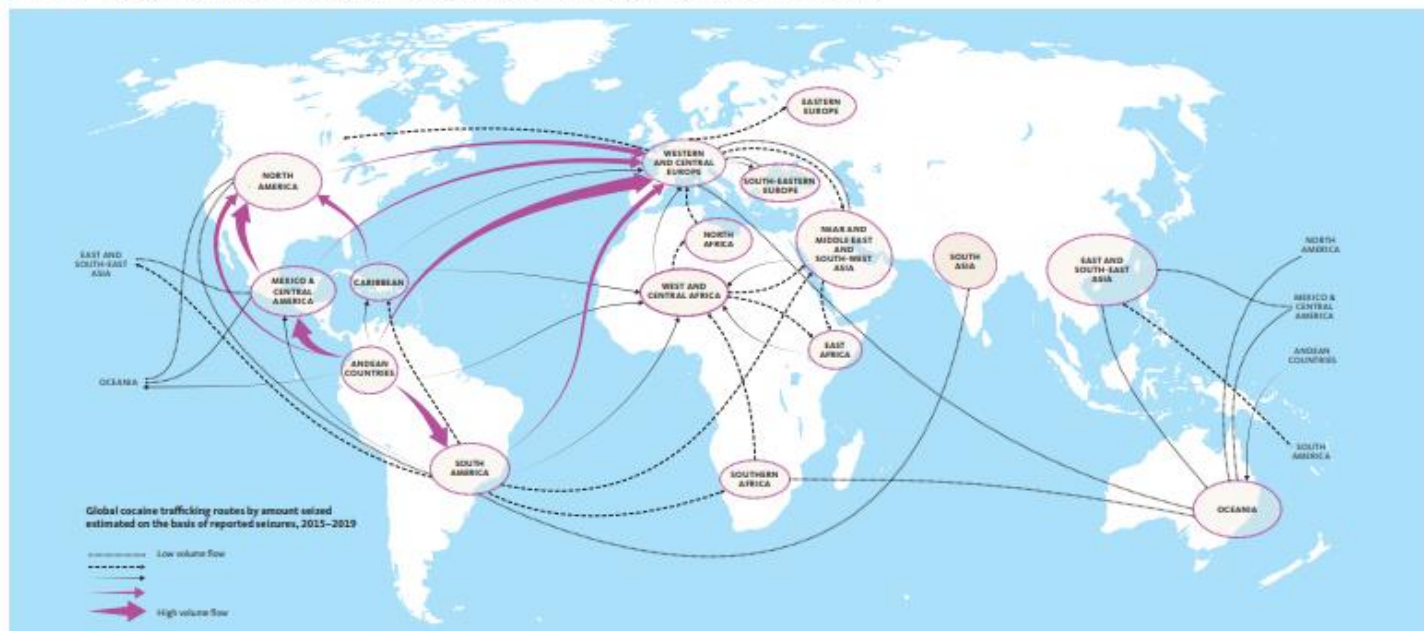
次いで、16%がコロンビアを起点としてカリブ海経由で輸出される「西カリブ海ルート」。

また、8%がコロンビアからベネズエラ経由で輸出される「カリブ回廊ルート」だという。

米国の麻薬当局によると「太平洋ルート」と「西カリブ海ルート」の大部分はメキシコを経由して米国に流れてくるようで、米国が摘発したコカインの80%はメキシコ経由で流入したものだという。

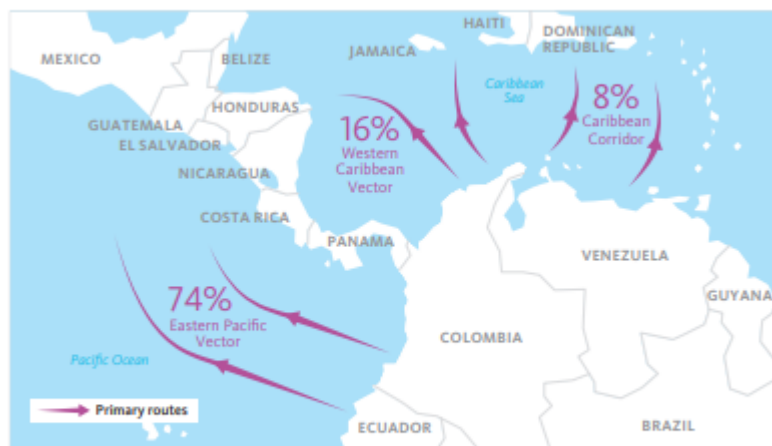
なお、米国で麻薬が入ってくるのが最も多いのはフロリダ州、次いでカリフォルニア州だという。

MAP 6 Main cocaine trafficking flows, as described by reported seizures, 2015–2019



The size of the route is based on the total amount seized on that route, according to the information on trafficking routes provided by Member States in the annual report questionnaire, individual drug seizures and other official documents, over the 2015–2019 period. The routes are determined on the basis of reported country of departure/transit and destination in these sources. As such, they need to be considered as broadly indicative of existing trafficking routes while several secondary routes may not be reflected. Route arrows represent the direction of trafficking: origins of the arrows indicate either the area of departure or the one of last provenance, end points of arrows indicate either the area of consumption or the one of next destination of trafficking. Therefore, the trafficking origin may not reflect the country in which the substance was produced.

MAP 9 Trafficking in cocaine from the Andean region to North America, 2019



Source: map reproduced from: United States, Department of Justice, Drug Enforcement Administration, 2020 National Drug Threat Assessment (March 2021).

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations.

国連の報告書を見る限り、麻薬取引に関するベネズエラのプレゼンスは大きくない。逆にコロンビアは麻薬生産国として圧倒的に大きなプレゼンスを占めている。

しかし、米国はコロンビアを麻薬取締に積極的な国と評価し、ベネズエラには麻薬国家のレッテルを張る。以前、筆者は米国を正義の国だと思っていたが、ベネズエラを見ていると違うと思うことが多い。

以上